

えひめ移住案内人としての 二年間を振り返って

はじめに

私は平成26年度から二年間、研究員として（公財）えひめ地域政策研究センター（以下、センター）に在籍させていただきました。



移住交流フェアの相談風景

センターでは「えひめ移住案内人」として、移住希望者からの相談対応や移住関連情報の発信等の移住促進に関する業務を主に担当させていただきました。ちょうど、人口減少問題が取り沙汰され、その対策の一つとして全国各地で移住者誘致が盛んに取り組まれるようになった時期だったように思います。私はどちらかというと内向的な性格ですが、業務柄、この二年間で県内県外各地を訪れ、移住希望者の方はもちろんのこと、既移住者の方や、移住者受け入れの取り組みをされている地域の方など多くの方々と出会い、お話を伺うことができました。このことは、今の私にとってかけがえのない財産であり、このような機会を与えていただいたことにとっても感謝をしています。

えひめ移住案内人として取り組んだこと

この二年間、「えひめ移住案内人」として重点的に取り組んだ事項について、この場をお借りして報告させていただきます。

舞たうんで移住支援団体の特集

着任当初、移住希望者からの相談に四苦八苦しなご対応していましたが、そのような中、心強かったのが県内の移住支援団体（NPO等の移住にかかる中間支援組織）の存在です。私が愛媛県の移住相談窓口である「えひめ移住案内人」として提供できる移住関連情報には限界があり、県内の気候や産業、移住支援制度のような広く浅い情報になってしまいます。それは、移住希望者がまだ漠然と移住を検討している段階であれば、愛媛県を移住候補地を選んでいただくために有用であると思います。しかし、移住希望者が具体的な移住候補地を決めており、その地域のことを詳しく知りたいような場合は、その地域の方や自治体の方でないとい情報提供は困難です。



八幡浜市
総務企画部
財政課

西村 耕平

このような場合は、自治体の移住担当窓口に対応をお願いすることになりますが、その市町に移住支援団体がある場合は、その団体に対応をお願いすることが多かったように思います。というのも、移住者の受け皿となる移住支援団体がある地域は、移住してきてほしい移住者像（子育て世帯等）を明示していたり、地域の空き家や仕事の紹介をしたりと、地域として移住者を受け入れる体制がある程度できており、相談対応を引き継げるだけでなく、移住希望者の方に安心して勧められる地域であるからです。そこで、県内の移住後進地域においても、移住者誘致に取り組む際の参考になるように、舞たうん第124号（平成27年4月発行）で「地域と移住者をつなぐ移住支援団体」と題して、移住支援団体の特集として取り上げました。地域のコンセンサスが得られない、リーダーとなる人や実働できる人がいないなど、移住支援団体を立ち上げるのは一朝一夕にはいかないかもしれませ



舞たうん第124号

ん。この特集が少しでも役に立ち、愛媛県内にこのような団体が増え、愛媛県内に多くの移住者が来られ、移住者と地域住民がともに暮らし、いける地域が増えることを期待しています。

「e移住ネット」をリニューアル

また、在籍二年目には移住関連情報の発信強化のため、えひめ移住支援ポータルサイト「e移住ネット」のリニューアルを行いました。リニューアルの内容の一部を紹介します。



えひめ移住支援ポータルサイト「e移住ネット」

「e移住ネット」のページごとのアクセス数によると、最も人気のあるコンテンツは「移住者インタビュー」です。このコンテンツは、移住のきっかけや、移住後の暮らし、移住を検討している方へのアドバイスなどを、実際に愛媛県に移住された方に取材し、まとめたものです。既移住者の体験談は、移住希望者からすれば今後の参考になると思いますし、移住を考えていない人が見ても、理想とするライフスタイルを求めて行動を起こし、そ

れを実現されている方のお話はとても興味深いものと思われまます。また、移住先の地域を知る上でも有用な情報になります。例年は年4件程度のところ、この年は14件のインタビュー記事を掲載しました。



移住者インタビュー取材風景

えひめ移住情報アラカルト

移住希望者が必要とする情報は、年代・家族構成、移住先での仕事などにより多岐に渡ることから、各自治体の移住担当者様にご協力いただき、これまで掲載していなかった移住関連情報（買い物環境、インターネット環境等）を多数追加しました。また、情報の増加により閲覧性が悪くなることを考慮し、「えひめ移住情報アラカルト」というコンテンツを追加しました。これは、移住希望者が希望するライフスタイル（風土・環境、産業等）と知りたい情報の項目（生活環境、支援制度等）を選ぶことで、該当する市町がタブ形式で表示され、市町別に知りたい情報の項目のみが表示されるものです。これによって、効率的に市町の比較ができ、移住候補地を決めることができると思われまます。加えて、その画面から

各自治体にメールによる移住相談もできるようになっています。

この他にも、「移住までの流れ」や「えひめ移住あるある」など移住希望者に興味を持っていただけるようなコンテンツの追加、全体的なページ構成の見直しと情報の整理追加を行いました。また、市町の紹介ページは、各自治体がいつでも編集できる仕様にしており、情報の鮮度にも配慮しました。リニューアルした「e移住ネット」をきっかけに、これまでに以上に愛媛県への移住を検討する方が増え、それが各市町、各地域への相談そして移住に繋がっていくことを期待しています。

おわりに

この二年間で「えひめ移住案内人」として十分な仕事ができたと自信はありますが、私なりに必要なこと、できることを考え、それを曲がりなりにもやり遂げることができたことは、私にとって大きな自信となりました。これもひとえに、お力添えを頂いたセンター職員の皆様や、関係団体の皆様、地域の皆様のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。

最後になりますが、センターの益々のご発展と、職員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。二年間、お世話になりました。